

日本一、働きやすい県庁(しょくば)アンケート2013の概要

平成 25 年 11 月 18 日
中央労使協働委員会

本アンケートは、県と県職員労働組合が「労使協働」の取組の一環として、職員の満足度や意欲・問題意識等に関する状況を把握し、今後の「日本一、働きやすい県庁(しょくば)」の取組を推進していくために実施するものです。

1 調査方法

(1) 調査対象

職員 5,261 人（派遣職員等を除く）を対象に実施し、有効回答者 3,447 人、回答率 65.52%でした。

(2) 調査期間

平成 25（2013）年 10 月 7 日～10 月 23 日

(3) 調査内容

日本一、働きやすい県庁(しょくば)を実現するために必要と考えられる 5 つのテーマに分類し、集計しました。

- ① 安全・安心に関すること (設問 6 問)
- ② 時間に関すること (設問 6 問)
- ③ 男女共同に関すること (設問 4 問)
- ④ 職場の「支えあい」を実現するために (設問 5 問)
- ⑤ 意欲を持って働くために (設問 6 問)

計 27 問について、「そう思う」「やや思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の 4 つの選択肢により、職員がどれだけ満足しているかについて調査を行いました。

(4) 算出方法

設問は 5 点満点で、全体の最高は 100 点となるようになっています。

2 調査結果の概要

(1) 全体の特徴

① 全体の満足度は(63.06点)で過去最高となりました。

(参考) 過去の職員アンケートの全体満足度得点推移

H13	H14	H15	H16	H17	H18
57.55	58.73	57.98	59.33	59.81	60.28
H19	H20	H21	H22	H23	H24
60.53	61.45	61.89	62.64	61.62	61.97

※ H23までのアンケートは設問数及び内容が現在のアンケートとは異なります。

② 設問別の満足度の最高点は「8 通勤時間」(3.79点)、最低点は「27 昇任のしくみ」(2.59点)でした。

3.50以上の高得点は「8 通勤時間」(3.79点)、「4 仕事上の相談相手」(3.64点)、「13 子育て介護への理解」(3.61点)、「5 ハラスメント」(3.60点)、「16 性別にかかわらず能力の発揮」(3.51点)の5項目となりました。

なお、「27 昇任のしくみ」(2.59点)、「1 職場環境」(2.62点)、「26 人事異動」(2.84点)が全体と比較して低い得点となっています。

(2) 項目別の満足度の特徴

① 所属

県立学校(63.94点)、他の地域機関(63.93点)、地域庁舎の事務所(63.77点)、本庁(62.05点)の順となりました。

② 部局・地域庁舎

部局別満足度では、病院事業庁(78.09点)、出納局(72.88点)、各種委員会(71.07点)が高く、雇用経済部(57.45点)、環境生活部(58.57点)、県土整備部(60.35点)が低い結果となりました。

地域庁舎の地域別満足度では、尾鷲庁舎(66.96点)が最も高く、桑名庁舎(62.25点)が最も低い結果となりました。

③ 役職

課長級以上(補佐級室長を含む)(70.69点)、一般(63.85点)、課長補佐級(61.01点)、主査級(60.44点)の順となりました。

(3) 日本一、働きやすい県庁の推進に向けての自由意見

全体で延べ620件の意見がありました。

① 最も多かったのは、勤務時間縮減に関するもので、102件(16.5%)あり、適切な人員配置、業務削減、事務改善、ワーク・ライフ・バランスの実現等の対策・実施を求める内容でした。

- ② 次に多かった意見は、人事に関する意見で73件（11.8%）ありました。異動上の配慮や管理職の適切な登用などを求める内容でした。
- ③ 他に多かった意見は、職場環境（施設面、空調等）52件（8.4%）、給与・労働条件に関するもので46件（7.4%）、日本一、働きやすい県庁の取組に関する意見が40件（6.3%）、育児・介護についての制度や周囲の理解・男性の育児参加に関するもので39件（6.3%）となりました。
- ④ 「依然としてパワハラの言動が見受けられる」や「パワハラが生じないように職員一人ひとりが先輩を尊敬し、後輩を思いやるような組織にしていくべき」など、ハラスメントに関する意見も17件ありました。

3 今後の取組

アンケート結果（数値、自由記載意見等）を各部局へ提供し、各部局等労使協働委員会において、課題について検討するとともに、各部局における今年度の日本一、働きやすい県庁（しょくば）の取組に活用してもらいます。